

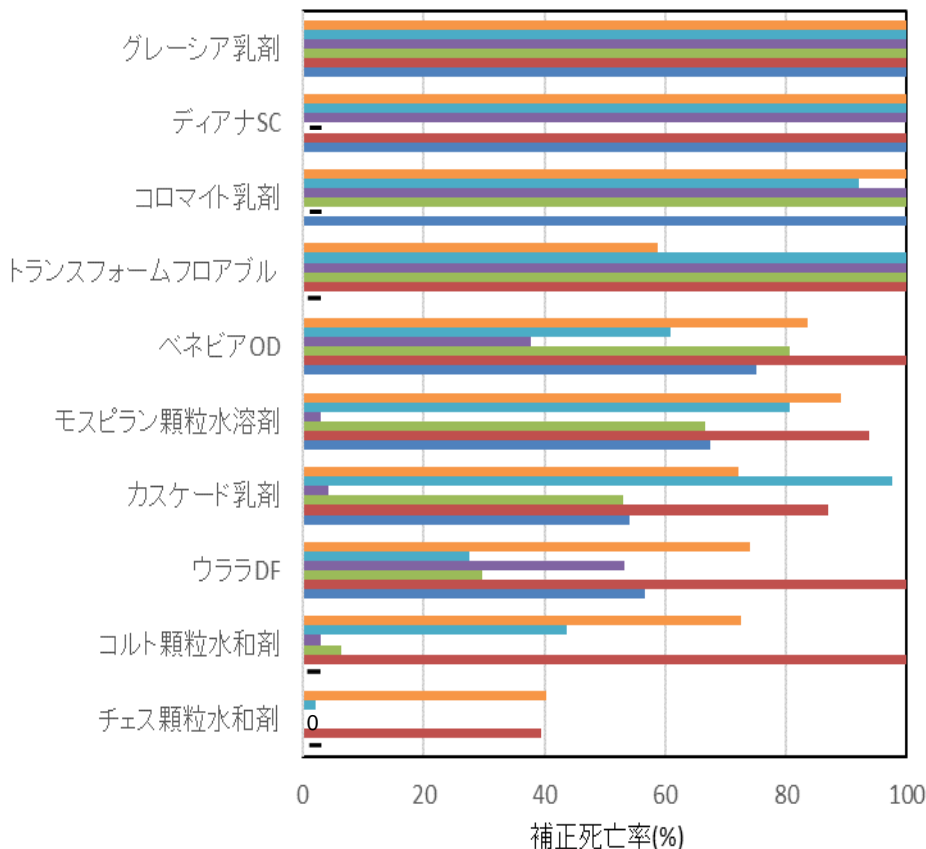
# コナジラミ類の薬剤感受性

農林水産研究所

コナジラミ類は、果菜類をはじめとする野菜類の重要害虫であり、ウイルス病を媒介したりすす病の原因となるなど、大きな被害をもたらします。多発すると防除を行っても中々密度が低下しないなど、防除上も厄介な害虫です。

コナジラミ類に対して主要な殺虫剤の感受性を検定しました。その結果、安定して効果の高い剤としては、グレーシア乳剤、ディアナSC、コロマイト乳剤が挙げられます。それらの剤に次ぐのが、トランスフォームフロアブル、ベネピアOD、モスピラン顆粒水溶剤でした。

防除にあたっては、系統の異なる薬剤をローテーションで使用する、防除後に効果の有無をチェックする等の注意が必要です。



オシツコナジラミ幼虫



オシツコナジラミ成虫

## コナジラミ類に対する各種殺虫剤の感受性

注) 今治市はタバココナジラミ、その他の地点はオシツコナジラミ